

ともに



～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～
小城市立小中一貫校芦刈観瀾校学校便り
第13号 令和7年10月3日(金)
文責：副校長 高柳 元

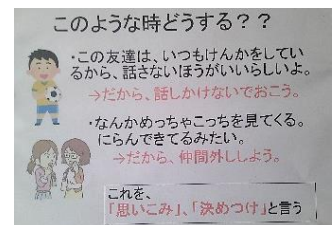
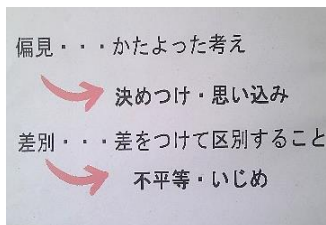
小学部人権教室

あなたならどうする？

9月11日(木)、小学部で人権教室を行いました。

低学年(1～3年生)は「それって、本当かな？」をテーマに、「うわさ」について考えました。ひぐちともこさん作の絵本『あの子』の読み聞かせを通して、「うわさ」が人を傷つけることや、確かめもせず他人を悪く言ったり責任を押しつけたりすることの怖さについて学びました。また、他人に言葉を伝えるときには、自分の言葉に責任をもつことの大切さも考えることもできました。

高学年(4～6年生)は「偏見や差別」をテーマに、平安時代の貴族の生活(おふろのきまり)の話などを手がかりに学習しました。そこから、偏見や差別とはどのようなものかを理解し、偏見や差別を許さず、みんなが安心して過ごせる学校をつくっていかうとあらためて確認しました。



2年生市民図書館見学

2年生は、生活科「みんなでつかう まちのしせつ」の学習で、公共施設の正しい使い方について学んでいます。その一環として、9月18日(木)に「小城市民図書館芦刈分室」を見学しました。図書館では、職員の方からお話をうかがい、利用の仕方について確認することができました。さらに、見学を通して、さまざまな人が図書館を利用していることを知り、みんなが使う場所での過ごし方や気をつけるべきことについて考えることができました。

また、小城市民図書館芦刈分室では、本を読んだり借りたりするだけでなく、地域の文化活動も行われています。この日は「水墨画教室」が開かれており、その様子も見学させていただきました。



7年生芦刈学「水産振興センター見学」と「歴史講話」

9月19日(金)、7年生は午前中に有明水産振興センターを見学し、午後には小城郷土史研究会会長の岡本澄雄さん(芦刈町在住)をお招きして、「芦刈の歴史」についてのお話をうかがいました。

有明水産振興センターでは、所員の方に施設を案内していただいた後、有明海の自然についてのビデオを視聴しました。さらに、実際に護岸を散策し、むつごろうやシオマネキなどの生き物を観察しました。

岡本さんの講話では、干拓によって芦刈町が誕生するまでの経緯や、地名の由来、芦刈にゆかりのある著名人、戦時中に特攻隊として出撃された中野繁利さんのことなどを、資料をもとに分かりやすくお話いただきました。



5年生はじめてのミシンの裁縫

9月19日(金)、5年生は家庭科の学習で、初めてミシンを使った縫い物に挑戦しました。ボランティアの皆さんに教えていただきながら練習布を縫い、その後、使用済みのタオルを使って雑巾づくりにも取り組みました。子どもたちは、ミシンの便利さや縫い目の丈夫さに驚きながら、楽しく学ぶことができました。



8年生芦刈学「職業インタビュー」

9月22日(月)と24日(水)、8年生は職業インタビューを行いました。8年生の芦刈学の目的は、地域で働く方々へのインタビューを通して、その思いや願いに触れ、自己理解を深めながら職業観・勤労観を育み、将来を考える力を高めることです。

今回は、「あしかりこども園」「岡本建設」「芦刈公民館」「徳富医院」「井口食品」「有明海沿岸道路事業所」「有明海漁業協同組合芦刈支所」を訪問し、事前に調べてきたことをもとに、それぞれの職場で働く方々にインタビューを行いました。

当日は、事前学習での準備を生かし、実際に働いておられる方から、仕事の楽しさや大変さ、地域に貢献したいという思いなど、さまざまなことを聞き取ることができました。子どもたちにとって、将来を考えるうえで大変貴重な体験となりました。



3年生冬野菜作り

10月2日(木)、地域の「コスモス会」「むつ姫会」の皆さん、そしてJAの山下さんのお力をお借りして、3年生が「あしのかファーム」に冬野菜の苗を植えました。今回植えたのは、大根・人参・ほうれん草・ごぼうの種、サニーレタス・リーフレタス・キャベツ・白菜・ブロッコリーの苗、そしてネギの球根です。

子どもたちは害虫対策のシートもかけ、畑が一段と立派な農園になりました。これから収穫に向けて世話を続けていきます。おいしい野菜がたくさん実る日を楽しみにしています。

